

第3学年 国語科学習指導案

令和3年 9月29日

3年 男8名 女7名 計15名

- 1 単元名 れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう
(教材名 「すがたをかえる大豆／食べ物のひみつを教えます」 光村図書3年)

2 単元構想

指導を行うにあたって	
・これまでに、3つのまとまりや中心に注意して読むことを学んでいる。 ・説明の仕方の工夫(事例の順序性、文をつなぐ言葉、写真資料の効果など)を理解するのに適している。 ・説明の仕方の工夫を捉えられるように、ワークシートを活用して指導する。	
単元を通して身に付けたい力	評価規準
○辞書の使い方を理解し使うこと。 〔知識及び技能〕(2) イ ◎段落相互の関係に注目しながら、考えとそれを支える事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。 〔思考力、判断力、表現力等〕C (1) ア ○言葉がもつよさを感じ取るとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度。 「学びに向う力、人間性等」	【知・技】辞書の使い方を理解し使っている。 (2) イ 【思・判・表】「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 (C (1) ア) 【態】積極的に、考えとそれを支える事例との関係などについて、叙述を基に捉えながら、学習の見通しをもって、説明の仕方の工夫を伝え合おうとしている。

3 単元の指導計画（7時間）

学習過程		学習課題	評価
見通す	1	学習の見通しをもとう。	
深める・まとめる	2	文章全体の組み立てについて考えよう。	【知・技】辞書の使い方を理解し使っているかの確認（様子・記述）
	3	「はじめ」をくわしく読んで、文章全体の「中心」となる話題や「問い」をたしかめよう。	
	4	「中」をくわしく読んで、中心をたしかめよう。	【思・判・表】考えとそれを支える事例との関係などについて、叙述を基に捉えているかの確認（記述）
	5 本時	「中」をくわしく読んで、どうしてこのじゅんじょなのかたしかめよう。 〈ワークシートを活用した思考の視覚化〉 〈思考や表現を促すためのコーディネート〉	
	6	「中」をくわしく読んで、ほかにせつめいのしかたのくふうはないかをたしかめよう。	
広げる	7	「すがたをかえる大豆」の学習をふり返り、次の学習の準備をしよう。	【態】説明の仕方の工夫を伝え合っているかの確認（記述）

4 本時の指導（5／7時間）

（1）目 標

段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。

（2）授業展開や考えを深めるための工夫

- ・事例の順序性を捉えることができるように、「問い」に対する「答え（中心）」をまとめたワークシートやサイドラインを引いた全文シートで視覚化を図り、比較しやすくさせる。
- ・「もし～だったら…」と知識や経験と結び付けて思考させる。

（3）展 開

段階	学習活動	形態	学習内容	評 価
導入 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の課題を確認する。 「中」をくわしく読んで、どうしてこのじゅんじょなのかたしかめよう。	全	○前時までに「問い」や「中心」について読み取ったことを想起する。 ○本時では、これまでの学習を生かして、説明の仕方の工夫（順序性）について、読み取ることを確認する。	
展開 35分	3 「中心」の順序性を捉える。 4 とり入れる時期や育て方を工夫した食べ方の事例から、順序性のとらえを深めて読む。 〈子供の発表例〉 ・あると、分かりやすいから。 ・あると、おどろかされるから。 ・あると、くわしくなるから。 ・あると、納得できるから。 5 本時の学習をまとめる。 このじゅんじょであげることにより、おどろかされるから。	個 グ 全 ペア 全 全	○事例の中心をまとめたワークシートに考えたことを書く。〈ワークシートを活用した思考の視覚化〉 ・自分の考えをもつ。 ・グループ（班）で考えを出し合う。 ・全体で考えをまとめる。 ○「もし～だったら…」と知識や経験と結び付けて思考する。〈思考や表現を促すためのコーディネート〉 ・ペアでの考えをもとに、全体で順序性の捉えを深める。 【思・判・表】段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 （発言・記述）	
終末 5分	6 本時を振り返る。 7 次時の学習の見通しをもつ。	全	○本時の学習を振り返り、交流する。 ○次時は、他の説明の仕方の工夫について、読み取ることを確認する。	